

ZENworks 2017 Update 3

新機能リファレンス

2018年8月

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.novell.com/company/legal/> を参照してください。

Copyright © 2018 Micro Focus Software Inc. All Rights Reserved.

目次

このガイドについて	5
1 ZENworks 2017 Update 3 の新機能	7
1.1 プラットフォームのサポート	7
1.2 ZENworks Configuration Management	7
1.2.1 ダッシュボード	7
1.2.2 モバイル管理	8
1.2.3 監査管理	10
1.2.4 システム更新	10
1.2.5 イメージング	10
1.2.6 Windows 10 バージョンの詳細表示のサポート	10
1.2.7 ZENworks アプリ	11
1.2.8 Oracle から MSSQL へのデータベースマイグレーションのサポート	11
1.3 ZENworks Reporting	11
1.3.1 更新された ZENworks Reporting インベントリドメイン	11
1.3.2 ZENworks Reporting でのモバイルインベントリデータのサポート	11
1.4 完全ディスク暗号化	11
1.5 パッチ管理	12
1.5.1 再設計されたダッシュボード	12
1.5.2 再設計されたパッチコンプライアンス基準	12
1.5.3 新しいパッチスキャン動作	13

このガイドについて

この『ZENworks 新機能リファレンス』では、ZENworks 2017 リリースの新機能について説明します。このガイドは、次の章で構成されています。

- ◆ [7 ページの第 1 章「ZENworks 2017 Update 3 の新機能」](#)

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にある、[\[このトピックに関するコメント\]](#)機能を使用してください。

その他のマニュアル

ZENworks には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。その他のマニュアルについては、[ZENworks マニュアル Web サイト](#)を参照してください。

1 ZENworks 2017 Update 3 の新機能

次の各セクションでは、ZENworks 2017 Update 3 の新機能と拡張機能を説明します。

- ◆ 7 ページのセクション 1.1 「プラットフォームのサポート」
- ◆ 7 ページのセクション 1.2 「ZENworks Configuration Management」
- ◆ 11 ページのセクション 1.3 「ZENworks Reporting」
- ◆ 11 ページのセクション 1.4 「完全ディスク暗号化」
- ◆ 12 ページのセクション 1.5 「パッチ管理」

1.1 プラットフォームのサポート

ZENworks 2017 Update 3 では、次の新しいプラットフォームがサポートされています。

- ◆ Windows 10 April 2018 Update、バージョン 1803
- ◆ openSUSE Leap 42.3 および 15
- ◆ SUSE Linux Enterprise Server 15 (SLES 15)
- ◆ SUSE Linux Enterprise Desktop 15 (SLED 15)
- ◆ iOS 11.4

システム要件の詳細については、『ZENworks 2017 Update3 システム要件』を参照してください。

1.2 ZENworks Configuration Management

- ◆ 7 ページのセクション 1.2.1 「ダッシュボード」
- ◆ 8 ページのセクション 1.2.2 「モバイル管理」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2.3 「監査管理」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2.4 「システム更新」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2.5 「イメージング」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2.6 「Windows 10 バージョンの詳細表示のサポート」
- ◆ 11 ページのセクション 1.2.7 「ZENworks アプリ」
- ◆ 11 ページのセクション 1.2.8 「Oracle から MSSQL へのデータベースマイグレーションのサポート」

1.2.1 ダッシュボード

パッチおよびデバイス管理用のアクション可能なダッシュボード：アクション可能なダッシュボードでは、ゾーン内のデータをビジュアル表示することができ、問題をより早く特定するのに役立ちます。このリリースでは、管理者はデバイスのパッチコンプライアンスステータス、Android エンタープライズモバイルデバイスのセキュリティコンプライアンスステータス、前回デバイスの脆弱

性をスキャンした時刻や ZENworks サーバに接続した時刻などの重要なシステムステータスを監視することができます。さまざまなステータスを特定した後で、何らかの懸念事項を解決するために必要なアクションを取ることができます。必要な場合は、カスタムダッシュレットも作成できます。このダッシュレットは、ダッシュボードに保存して固定化することができます。

このリリースには、次のダッシュレットが含まれます。

- ◆ デバイス管理ダッシュレット：Android エンタープライズコンプライアンスステータス、Device Last Contact Time (デバイスの最近の連絡時間)、およびデバイスの配布
- ◆ パッチ管理ダッシュレット：パッチサブスクリプションステータス、最近リリースされたパッチ、デバイスのパッチコンプライアンス、およびデバイスの最終パッチスキャン

詳細については、『ZENworks 2017 Update 3 Reference』を参照してください。

1.2.2 モバイル管理

- ◆ 8 ページの「Android デバイスの仕事用管理モード」
- ◆ 8 ページの「Intune アプリ保護のサポート」
- ◆ 9 ページの「紛失したモバイルデバイスの検索」
- ◆ 9 ページの「iOS デバイスの紛失モードのサポート」
- ◆ 9 ページの「新しい iOS 11 の制限と DEP 設定のサポート」
- ◆ 9 ページの「iOS モバイルデバイス用の再起動とシャットダウンのクイックタスク」
- ◆ 9 ページの「モバイルインベントリ設定用のユーザインタフェース」

Android デバイスの仕事用管理モード

仕事用管理デバイスモードを含むように Android エンタープライズのサポートが拡張されました。この機能により、コンテナを作成して企業データと個人データを分離しなくても、管理者はデバイス全体を管理できるようになります。つまり、デバイスは仕事用に限定され、Google Play ストアからインストールできるのは、管理者が承認したアプリのみになります。管理者は、仕事用管理デバイスから企業データをリモートでワイプすることもできます。このモードでも、Android エンタープライズ関連の全機能は引き続き利用可能です。

詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「[Enrolling devices in the work-managed](#)」を参照してください。

Intune アプリ保護のサポート

ZENworks では、デバイスを登録しなくても、Intune SDK を使って構築されたアプリ (Microsoft Office 365 アプリなど) を保護することができます。Microsoft Graph API を設定することにより、ZENworks 内でポリシーを作成して、iOS デバイス上の Intune アプリを保護することができます。これらのポリシーにより、特定の 방법으로データにアクセスするよう強制したり (例：PIN の使用の強制)、データにアクセスできるデバイスを制限したり (例：脱獄されたデバイスへのアクセスの制限)、データの切り取り、コピー、貼り付けを制限することができます。必要に応じて、ZENworks 自体から、デバイスのアプリデータをワイプすることができます。

詳細については、『ZENworks 2017 Mobile Management Reference』の「[Managing Intune Apps](#)」を参照してください。

紛失したモバイルデバイスの検索

このリリースでは、管理者は ZENworks を使用して、紛失した iOS デバイスおよび Android デバイスの現在の場所を特定できるようになりました。紛失した監視対象デバイスが見つかった場合、エンドユーザはインスタントメッセージまたは電子メールで連絡を受けます。組み込まれているプライバシー設定により、デバイスの最後に確認された場所のみが暗号化された形式で ZENworks に保存され、場所の詳細情報へのアクセスは権限により制御されます。さらに、場所情報へのアクセス試行はすべて監査されます。

詳細については、『[ZENworks 2017 Mobile Management Reference](#)』の「[Locating a Device](#)」を参照してください。

iOS デバイスの紛失モードのサポート

この機能により、iOS 監視対象デバイスが紛失した場合に、回復メッセージとコールバック用電話番号を表示するオプションを使用して、このデバイスをロックすることができます。

詳細については、『[ZENworks 2017 Mobile Management Reference](#)』の「[Enabling Lost Mode](#)」を参照してください。

新しい iOS 11 の制限と DEP 設定のサポート

このリリースには、追加の iOS 11 制限事項に関するサポートが含まれます。制限事項の対象となるのは、AirPrint、システムアプリの削除、および音声ディクテーション、Wi-Fi ホワイトリスト、VPN 設定機能などの追加設定です。

DEP 設定も拡張されました。これにより、Aerial スクリーンセーバ、タッチして設定、ホーム画面同期、Apple TV 用の TV プロバイダサインインなどの機能がサポートされます。さらに、Update 3 では、キーボード設定、オンボーディング、Watch マイグレーションなどの機能もサポートされません。

詳細については、『[ZENworks 2017 Mobile Management リファレンス](#)』を参照してください。

iOS モバイルデバイス用の再起動とシャットダウンのクイックタスク

再起動とシャットダウンのクイックタスクの対象が、iOS 監視対象デバイスも含むように拡張されました。

詳細については、『[ZENworks 2017 Mobile Management Reference](#)』の「[Reboot or Shutdown iOS Devices](#)」を参照してください。

モバイルインベントリ設定用のユーザインタフェース

ZENworks コントロールセンターを使用して、管理ゾーン、デバイスフォルダ、およびデバイスレベルで、モバイルデバイスのインベントリスキャンをスケジュール設定できるようになりました。インベントリスキャンを特定の間隔で実行するように設定できます。インベントリの詳細を瞬時に収集したい場合は、クイックタスクを実行してインベントリスキャンを手動で開始することもできます。

詳細については、『[ZENworks 2017 Mobile Management Reference](#)』の「[Managing a Device](#)」を参照してください。

1.2.3 監査管理

SIEM ツールとの統合 : ZENworks では、監査およびシステムに関するイベントやメッセージを CEF 形式で Syslog サーバに送信できるようになりました。特定のイベントがシステムで発生する際に管理者に警告するために、これらのイベントを、ArcSight や Sentinel などの Security Information and Event Management (SIEM) ツールで関連付けることができます。

1.2.4 システム更新

システム更新中のより正確なデバイス数の取得 システム更新の展開ステータスの表示が拡張され、直接割り当て、グループ、動的グループの一部であるかどうかに関係なく、更新が割り当てられているデバイスのより正確な数を取得できるようになりました。これにより、更新ステータスの正確な表示をいつでも得られるようになりました。

PRU の自動ダウンロード 毎月の製品認識の更新 (PRU) を自動的に展開できるようになりました。ZENworks コントロールセンターを使用して、PRU 可用性、ダウンロード、および展開を確認するように、毎月のスケジュールを設定できます。PRU 展開ステータスについて管理者に知らせるため、電子メール通知を設定することもできます。

詳細については、『ZENworks System Updates Reference』の「PRU Schedule」を参照してください。

1.2.5 イメージング

INI ファイルを使用した MDT の展開 : 要件に基づき、CustomSettings.ini または Bootstrap.ini ファイルを使用して、MDT の展開を自動的に行えるようになりました。これらの INI ファイルを使用して、ライトタッチ展開からゼロタッチ展開まで達成できます。

プレブートバンドルのルール変数 : ユーザはプレブートバンドルのルール変数を定義できるようになりました。

WinPE distro を使用した MBR から GPT への変換 : WinPE distro を使用して、MBR ディスクから GPT ディスクに変換できるようになりました。

バンドル名の変更 : 次のイメージングバンドルの名前が変更されました。

- ◆ イメージングスクリプトから Linux イメージングスクリプトへ
- ◆ サードパーティスクリプトから WinPE イメージングスクリプトへ

ファームウェアに基づいてバンドルを割り当てるファームウェアタイプフィルタ : ルールロジックフィルタの新しいファームウェアタイプフィルタでは、ファームウェアのタイプに基づいてバンドルを割り当てることができます。

詳細については、『ZENworks Preboot Services およびイメージングリファレンス』を参照してください。

1.2.6 Windows 10 バージョンの詳細表示のサポート

ZENworks では、[Device Properties (デバイスプロパティ)]、[インベントリ]、および [システム要件] ページで、Windows 10 バージョンの詳細 (ビルド番号) を表示できるようになりました。

1.2.7 ZENworks アプリ

更新された ZENworks ブランディングポリシー : ZENworks ブランディングポリシーを使用して、ZENworks アプリケーション (ZAPP) に表示されるアイコンのサイズを指定できるようになりました。

1.2.8 Oracle から MSSQL へのデータベースマイグレーションのサポート

ZENworks では、Oracle から、ZENworks がインストールされていないデバイス上にインストールされている Microsoft SQL データベースへのデータのマイグレーションがサポートされるようになりました。

詳細については、『ZENworks Database Management Reference』の「[Migrating the Data from an Oracle Database to an MS SQL Database](#)」を参照してください。

1.3 ZENworks Reporting

- [11 ページのセクション 1.3.1 「更新された ZENworks Reporting インベントリドメイン」](#)
- [11 ページのセクション 1.3.2 「ZENworks Reporting でのモバイルインベントリデータのサポート」](#)

1.3.1 更新された ZENworks Reporting インベントリドメイン

ZENworks Reporting インベントリドメインが拡張され、レポートが以前よりも迅速に生成されるようになりました。

1.3.2 ZENworks Reporting でのモバイルインベントリデータのサポート

ZENworks で登録されたデバイスについて、モバイルアプリインベントリデータレポートを生成できるようになりました。

詳細については、『ZENworks Reporting Universe Objects and Predefined Reports Reference』を参照してください。

1.4 完全ディスク暗号化

Windows Secure Boot 用に追加された完全ディスク暗号化のサポートにより、UEFI ファームウェア設定で指定されている Windows デバイス上での完全ディスク暗号化ポリシーの展開が可能になりました。

1.5 パッチ管理

パッチ管理には、次の変更と拡張機能が含まれています。

- ◆ 12 ページのセクション 1.5.1 「再設計されたダッシュボード」
- ◆ 12 ページのセクション 1.5.2 「再設計されたパッチコンプライアンス基準」
- ◆ 13 ページのセクション 1.5.3 「新しいパッチスキャン動作」

1.5.1 再設計されたダッシュボード

パッチ管理は新しい ZENworks ダッシュボードの一部で、パッチダッシュボードのユーティリティを大幅に拡張したものです。具体的には、パッチ管理の健全性の評価、弱点が見つかった際のアクションに関して改善が施されています。新しいパッチ管理ダッシュボードは、4つのデフォルトダッシュレットと、デフォルトダッシュレットからカスタムダッシュレットを作成する機能を備えています。各パッチ管理ダッシュレットの詳細は次のとおりです。

- ◆ **パッチサブスクリプションステータス**：ゾーン内に存在する既知のパッチの数、それらのステータス、およびライセンス、パッチ検出、パッチダウンロードに関するサブスクリプションアクティビティの最終開始時間および最終終了時間を表示します。
- ◆ **最近リリースされたパッチ**：最近リリースされたパッチの数をパッチの影響タイプごとに表示します。
- ◆ **デバイスのパッチコンプライアンス**：ゾーン内のデバイスのコンプライアンスステータスを表示します。
- ◆ **デバイスの最終パッチスキャン**：パッチに対してスキャンされたデバイス数を時間範囲ごとに表示します。

1.5.2 再設計されたパッチコンプライアンス基準

パッチ管理ダッシュボードが再設計されたことに伴い、パッチコンプライアンスは各デバイスにインストールされた重要パッチと推奨パッチの設定可能な割合に基づくようになりました。この変更は、[パッチ管理] > [ダッシュボードおよびトレンド] で設定され、新しいデバイスパッチコンプライアンスダッシュレットで表示されます。

詳細については、『ZENworks 2017 Patch Management Reference』の「[Configuring Patch Dashboard and Trending Behavior](#)」を参照してください。

1.5.3 新しいパッチスキャン動作

以前のリリースでは、前回のスキャン以降に新しい DAU (Discover Applicable Update) バンドルがデバイスに配信されたことをスキャンエンジンが検出した場合にのみ、スケジュール設定されたスキャンが実行されました。この動作により、パッチスキャンによるパフォーマンスへの影響を最小限に抑えることができましたが、次の懸念事項も生じていました。

- ◆ パッチがインストールされているかどうか、インストールソースに関係なく検出されました。パッチを ZENworks 以外のツール (アプリケーションのネイティブアップデートなど) でインストールした場合、DAU バンドルが変更されていないためスキャンがスキップされ、デバイスのパッチステータスが誤った状態で放置されていました。
- ◆ デバイスの最終パッチスキャンダッシュボード (このリリースの拡張対象) の最終パッチスキャン日付は、誤解を招く可能性がありました。DAU バンドルが変更されていないためスキャンがスキップされたにもかかわらず、スキャンエンジンによってスキャンが実行されたことを示すからです。

この問題を解決するため、DAU バンドルが変更されているかどうかに関係なく、スケジュール設定されたスキャンが毎回実行されるようにスキャン動作が変更されました。デバイスに著しいパフォーマンスの低下がみられる場合は、システム変数に `PATCH_SCAN_ALWAYS=FALSE` を追加して、以前のスキャン動作に戻すことができます。

詳細については、『ZENworks 2017 Patch Management Reference』の「Patch Management System Variables」を参照してください。

